

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

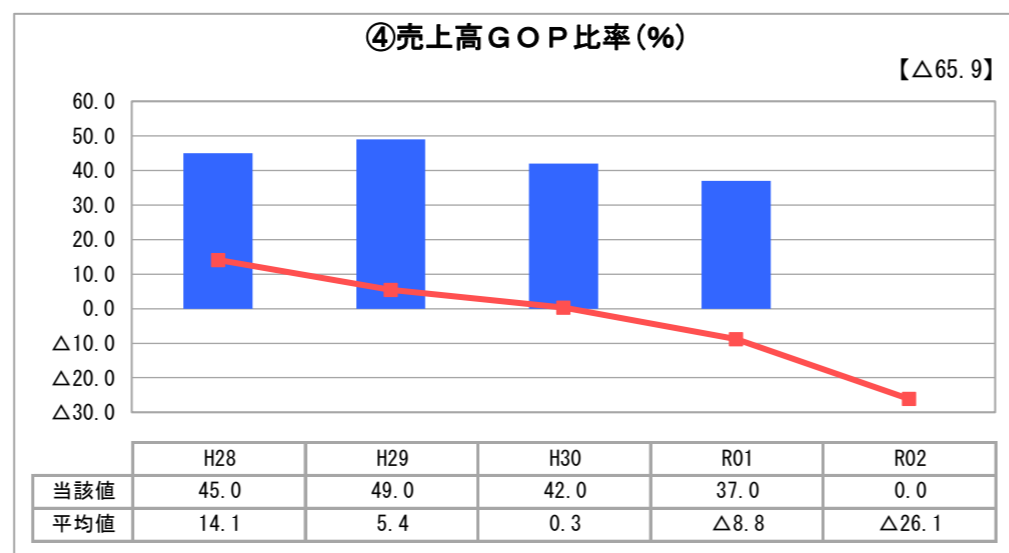
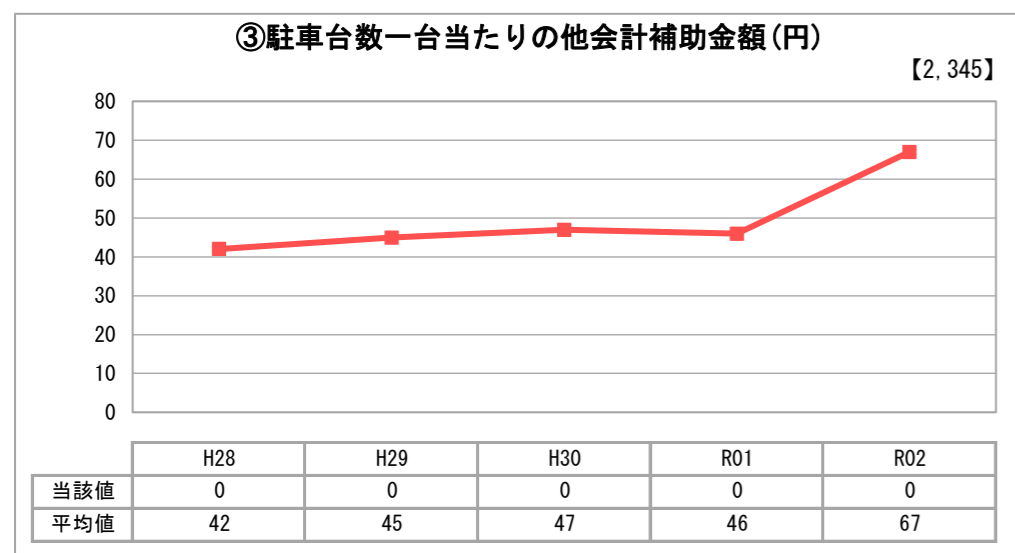
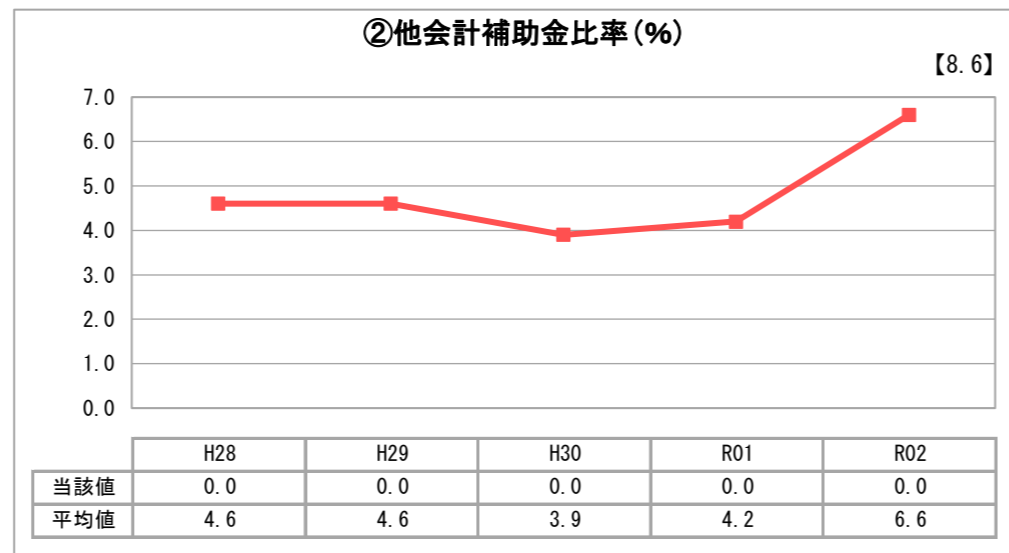
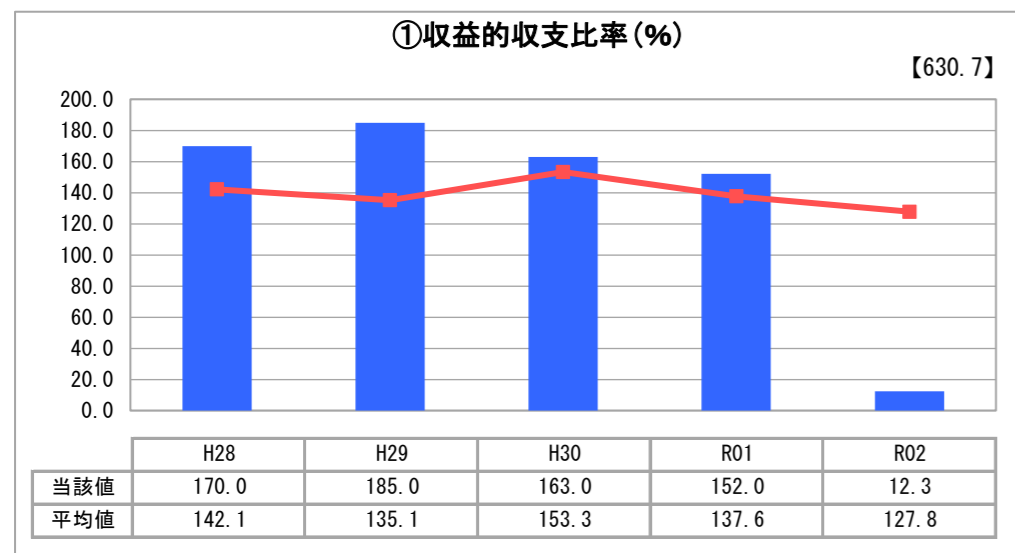
長崎県長崎市 長崎市平和公園駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	27	

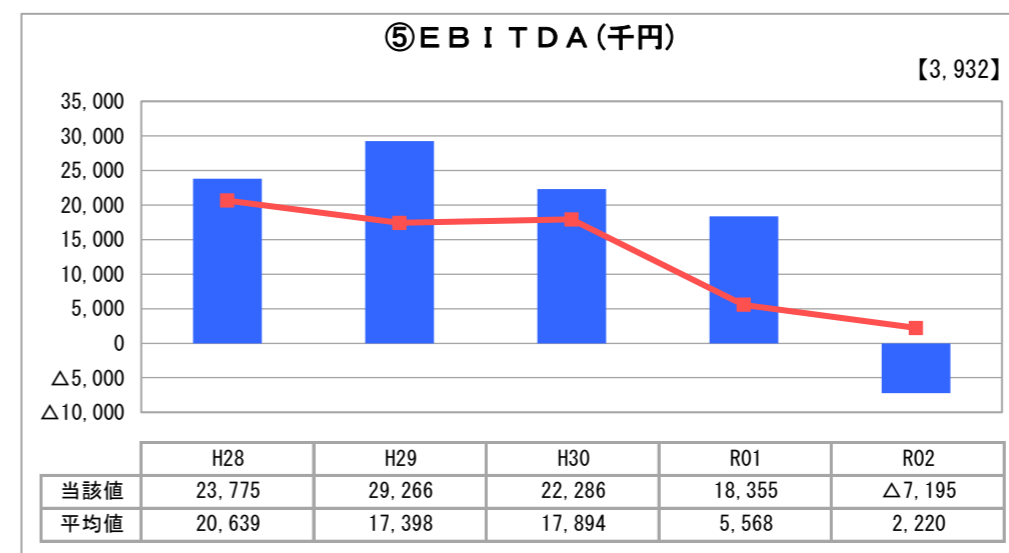
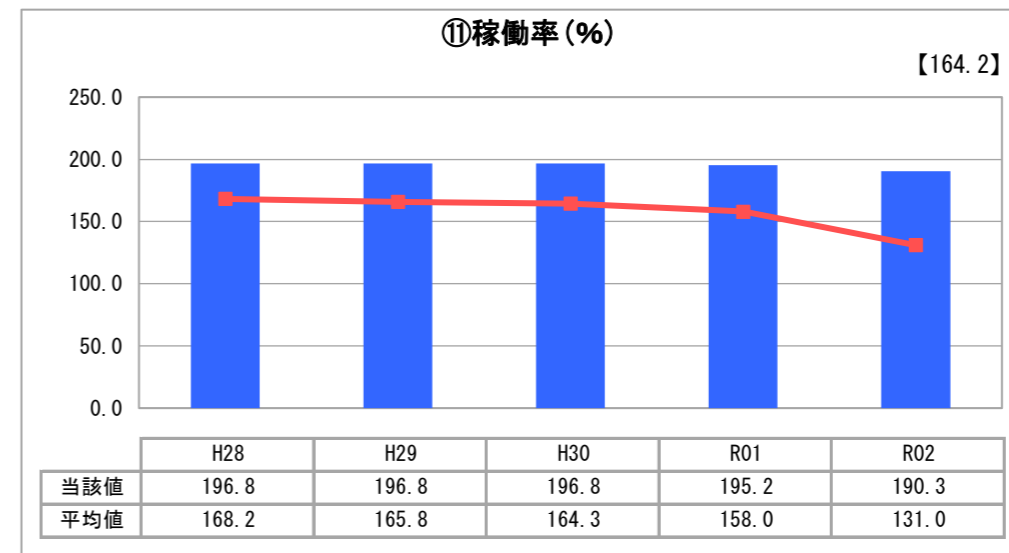
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	有	7,384
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
124	1,500	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[ ]	令和2年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

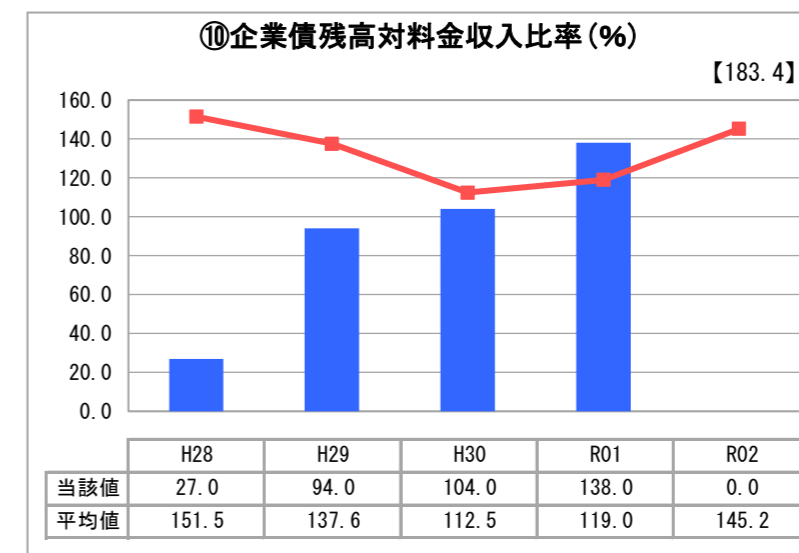


⑦敷地の地価(千円)

1,267,286

⑧設備投資見込額(千円)

134,416



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 平成26度をもって建設事業債の償還が完了したため、平成27年度から収益は黒字となっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により5/4~5/31までの閉場したうえ、観光地の人出が減少し、年度を通じて収益が大幅に減少しており、赤字となった。  
 今後も収益の改善見込みについて不透明な状況が続くことが想定される。  
 施設の更新・投資に充てる財源についても、より慎重に確保していく必要がある。

2. 資産等の状況について  
 企業債残高対料金収入比率が「0」のため、必要な施設の更新を行っていくが、現在の収益状況が悪いため、より計画的に、必要な施設や設備の更新を行っていく必要がある。  
 また、精算機などの機器の更新についても、耐用年数や状況をみながら計画的に維持管理・更新を行っていく必要がある。

3. 利用の状況について  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響が大きい現在でも、稼働率が全国平均や類似施設平均と比べて高い数値となっており、影響が収まっていくにつれ、利用状況は大きく改善していくものと想定しているが、楽観視できる状況とはいえない。

全体総括  
 収益は大幅な減収となっているものの、他会計からの補助なく運営できている。  
 しかし、今後は新型コロナウイルスの影響による収益の悪化が続くことが想定され、指定管理者制度（令和2年度から利用料金制を導入）による利用者サービスの向上及び増収対策に努めるとともに、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく。